

大和ハウスが造成現場で AEROBO 測量 2.0 を採用 —総合生活産業にドローンを活用—

この度、エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役：谷口恒、以下エアロセンス）が開発・製造・販売している AEROBO® Marker（エアロボマーカー：GPS 搭載対空標識）を活用した AEROBO®測量 2.0（AEROBO®（産業用日本製ドローン）、AEROBO®マーカー、AEROBO®クラウド（高速データ処理クラウドソフト）のパッケージサービス）が、大和ハウス工業株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長：芳井敬一、以下大和ハウス）に採用されました。

大和ハウスでは、「総合生活産業」を志し、ロボットスーツや AI、ドローンといった多様な新技術を積極的に活用し、事業の拡大と現場の改革を進めています。既存の高い測量・施工技術に加え、ドローンによる3次元の AEROBO 測量 2.0 を自社の土木造成現場に導入し、これまで工数を要していた土量管理を省人化し、生産性向上と働き方改革を推進しています。詳細は、当社 HP の「導入事例紹介」ページをご参照ください。

<https://media.aerosense.co.jp/case-0031>

<使用事例>



「3次元データで、現場を見える化」

AEROBO®（エアロボ）はエアロセンス株式会社の登録商標です。

【お問い合わせ先】エアロセンス株式会社 (www.aerosense.co.jp)

東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号

TEL: 03-3868-2551、Email: contactus@aerosense.co.jp